

葉たばこにおける土壌から乾葉への 放射性セシウムの移行率

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科

事業名 放射性物質除去・低減技術開発事業

小事業名 放射性物質の吸収量の解明

研究課題名 畑作物の放射性物質の吸収量の解明

担当者 古和田 壘

I 新技術の解説

1 要旨

葉たばこにおける土壌の放射性セシウムの吸収と乾葉への移行に係る知見を得るため、放射性セシウム濃度の異なる土を用いてポット栽培試験を行った(表1)。外部環境の影響を除くため、栽培は温室内で行った。

収穫後に温風乾燥機で調製した試験乾葉の放射性セシウム濃度を測定した結果、いずれの区も20Bq/kg未満となり、有意差は見られなかった(図1)。土壌から乾葉への移行係数は0.0083～0.072であった(表2)。

2 期待される効果

葉たばこの放射性セシウム吸収に関する新たな知見として吸収抑制の対策に役立てることができる。

3 活用上の留意点

葉たばこ乾葉の放射性セシウム濃度に対するJTの自社基準は100Bq/kgである。

Ⅱ 具体的データ等

表1 栽培条件と土壌特性

栽培条件	土壌の放射性Cs (¹³⁴ + ¹³⁷)濃度	交換性カリ (mg/100g)
高濃度土	1820 注	30.1
中濃度土	980	28.8
低濃度土	140	27.4

注) 土壌は農業総合センター内で採取し、それぞれ調製を行った

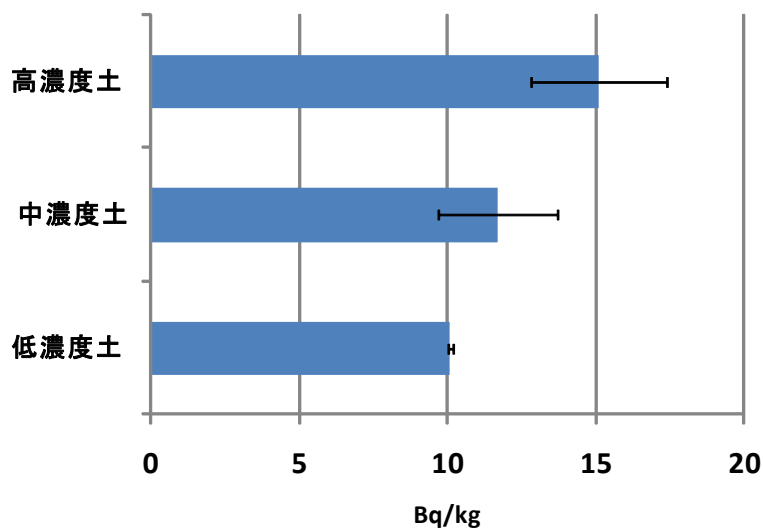


図1 タバコ乾葉の放射性セシウム(¹³⁴+¹³⁷)濃度

注) 各区間に有意差は無し

表2 土壌から乾葉へのセシウム移行率

区名	TF (移行係数)
高	0.0083
中	0.012
低	0.072

Ⅲ その他

1 執筆者

古和田 壘

2 実施期間

平成26年度

3 主な参考文献・資料